市報 あくね

第139号

編集と発行
阿久根市総務課
TEL（代表）450
印刷所
有限会社 福崎印刷所

昭和33年8月1日発行

8月のこよみ

1日 家畜寄生虫駆除日間
植樹樹手入れ運動（31日まで）
6日 広島原爆記念日
8日 漁業調整委員選挙
14日 青年学級振興法施行
15日 五週年
終戦13年週年
28日 旧おぼん

今月の税金は 市・縣民税（二期）

＝納期 8月31日＝

今月は滞納一掃月間となっています。32年度の滞納税は是非今月中に納付してください。

市民告知板

＝8月8日は＝ 漁業調整委員の選挙です

漁民の権利と利益を代表する海区漁業調整委員の選挙が、今月8日に行われます。

今年の選挙は一昨31年8月に行われ委員の任期満了によるものです。

この地方は北薩海区で、委員の数は10名ですが、選挙によって選ばれる委員は7名です

選挙の期日 8月8日
投票時間 午前8時～午後5時まで

投票所
第1投票所（浜公民館）
浜、大丸、高松、上野、新町
第2〃（永田下公民館）
赤瀬川、倉津
第3〃（佐潟公民館）
折口
第4〃（西目小学校）
佐潟
第5〃（牛之浜公民館）
高之口、飛松、大川島
第6〃（元漁協事務所）
牛之浜
第7〃（尻無浜公民館）
大川
第8〃（脇本小学校）
尻無
第9〃（大谷集会所）
脇本浜、深田、下村、馬場
黒之上、大谷、黒之浜、大漉
小漉、八郷
脇之浦東

◎投票できる人
昭和32年9月15日現在、調整の北隆海区漁業調整委員会委員選挙人名簿に登録されている人でなければ投票出来ません。（この人は漁協を使用して年間90日以上漁業を営む満20才以上のものです）

なお市内の有権者は一、九四五名です。

◎投票
投票日に出漁などのために投票所へ行けない人は、前日の8月7日までに市選管事務所で不在者投票ができます。

◎開票
開票は即日開票します。投票日の午後7時頃より中央公民館で行います。

農家の皆さん二十年来の暑さと、かってない干天にさぞご心痛のことと存じます

よそは戦後第二の豊作というのにこちらはまっていた台風さえも逃げて行く皮肉さ。しかし心をおとさずがんばってください。

〃夏の大掃除〃

重点は蚊の発生源の撲滅

夏の大掃除の時期がきました。伝染病発生の時期でもありますので、今回は特に台所附近の水だめ便所などに注意して完全に蚊の発生源を撲滅してください。

検査はつぎの日程で行います。

△八月六日（水）尻無 △七日（木）大川、牛之浜 △八日（金）馬見塚、大川島、枦、飛松、高ノ口、佐潟、落、本之牟礼 △十一日（月）山下、尾崎、弓木野 △十二日（火）大丸、高松、町、浜、倉津、遠見ケ岡 △十三日（水）波留、上野、新町、潟 △十四日（木）鶴川内（桑原城、木佐木野含む） △十五日（金）赤瀬川、田代 △十八日（月）折口、多田 △十九日（火）筒田、桐野上下、下村、脇本浜、上原、馬場 △二十日（水）瀬之浦上、下、大淵川古里、捣之浦東 △二十一日（木）捣之浦西、深田、大谷黒ノ上、大漉、小漉、八郷、松ケ根、笠山

なお当日は一人は在宅して検査を受けてください。

大島桟橋復旧工事完成

昨年災害をうけたまゝになつていた大島桟橋はごらんのようにりつぱに完成しましたこの桟橋は昨年の10月台風によつて約9mをこわされていたものですが、観光シーズンにはいる前にと完成をいそいだものです今毎日たくさんのキャンパーや海水浴客に利用され喜ばれています。

夏休みを明るく楽しく！ 保護者の正しい愛情で！

子供にとって夏休みぐらい楽しい期間はないでしょう。

学校から解放され、海や山を思う存分駈けめぐり、夏祭りなどには無心にはしやぎ、全く自由の天国です。

しかし、ちょっとした不注意から、つまらないことをして罪をおかしたり、事故が発生したりするものです。

昨年中の県下でおきた夏休み中の少年罪行や事故の状況は、つぎのような多くの数にのぼっています。

〔犯罪では〕
兇悪犯 一〇人 粗暴犯 五九人
窃盗犯 一六九人
その他の刑法犯 一九人
計 三〇四名

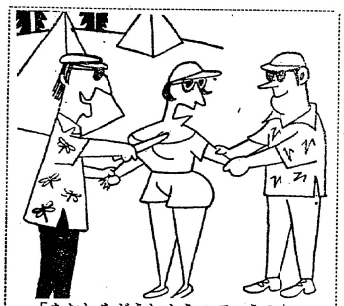
特別法犯 四七人

〔事故では〕
水難事故 五六人
交通事故 四一人
計 九七名

本年市内でも、はや数名の水の犠牲者が出ています。

これからは、のこる一ケ月を無事故で明るい思い出の夏休みとなるようにつぎのようなことを守ってください。

◎きまりのある生活を守せよう。
◎自分のことは自分でする習慣をつけさせよう。
◎叱るよりまず模範を示そう
◎よい読物、よい遊び道具を与えよう。
◎ひとりの行動は非常に危険です
◎ちょっとした不注意が事故をひきおこします。



「あたしをどうしようつていうの」
「へへへ…自分の服装に聞いてみな」

お国自慢の写真募集

全国都市フォトコンテスト

現在、全国の市の数は五〇六に達しました。

これらの都市を紹介する、お国自慢の写真を全国市長会で募集しています。

主題はつぎの四項目に該当するものとします。

◎公民館、交通機関、上下水道などの公共事業
◎市域に属する名勝、史跡
◎祭礼、行事などの風俗習慣
◎産業関係、とくに名産特産品の紹介

黒白、カラー何れでも結構です。モノクロームの場合は四切以上の引伸しに限ります。

作品には、一枚ごとに簡単な説明と撮影、日時、住所、氏名を添えてください。

特賞から佳作まで、それぞれ賞品、および記念品を贈呈します

〔あて先は〕
東京都千代田区九段一の一四
全国市長会「フォトコンテスト係」

漁船の検認が行われます

8月18日から21日まで漁船の検認が行われます。

この漁船の検認とは、漁船法によって、登録票の再交付を受けた日から三年目ごとに、その漁船や登録票の検査をすることをいいます。

だから今度の検認の該当船は、昭和30年度に検認を受けた漁船と30年4月から31年3月末までに建造された漁船で、その後変更登録のなかつた漁船となつています。

以上のような漁船は、もれなく検査を受けるようにしてください

なお、くわしいことについては市経済課か所属の漁協に問合せて下さい。

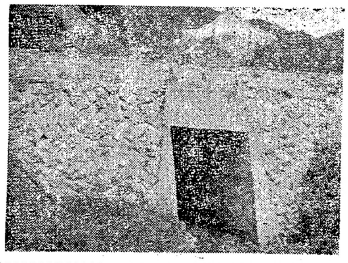
校庭の下に川を

広くなつた本之牟礼校

校庭で満足な遊技もできず、運動会も道路を利用してやらなければならないという、うそのような話の学校があつたのですが、これが今度ごらんのように広くなつた大川小の本之牟礼分校です。

この工事は校庭の前を流れている小川に三六メートルの暗渠をつくり、校庭を拡げたもので、川の上もりつぱな庭になつています。

工費は七九一千円拡張した校庭の広さは約一三〇坪でもとの倍以上になつたわけです



これは地区民と、子供達の多年の夢が実現したもので四一名子供達はいま大喜びではしやぎまわつています。

農地の一筆調査（8月1日）

8月1日は農地の一筆調査の日です。

毎年全国一斉に行われるもので小作地や小作採草放牧地の所有状況を調査することになつております。

この調査は、農業委員会が中心になつて行いますが、農地や採草放牧地（つまり草刈場）を持つている人、それを人に貸している人また借りている人は、一人残らず一筆もれなく申告をして頂きこの調査にご協力をお願いします。

特に市街地の皆さんへ

今年は降雨が少いため、下水路の汚水が少量の紙屑、小石にもはばまれ流水が悪く、沈滞してはえや蚊の発生、病菌の温床となつている個所が沢山みかけられます

環境衛生の上からはもとより観光阿久根のためにも少しでも住みよい街、きれいな街にしたいものです。

毎朝の庭の清掃のついでに下水路にも箒を入れてください。

漁協名	期日	期間	漁港
脇本ノ浜	18日	1日間	脇本黒ノ浜港
西目	19日	1日間	阿久根港
阿久根倉津地区	19日	1日間	倉津港
阿久根	21日	1日間	赤瀬川港
大川地区	21日	1日間	大川折口港
阿久根地区	21日	1日間	牛之浜港

社会福祉事業費に 弐万円を寄附

本町の坂元善文氏は、先般御母堂死去にさいしての香典返しとして、弐万円を市社会福祉協議会に寄附されました。

協議会では、同氏の意志にしたがつて市民助け合いのために使うことにしております。

おくやみ（七月分）

拵七右衛門 72（鶴川内）スエノ
赤松 キノ 63（大丸町）富蔵
中野 鳴海 38（大川）ツミコ
花木和七郎 49（大川）喜代子
有島ヨシノ 58（波留）落叶
宮原スソノ 52（鶴川内）岩吉
楠田 正勇 70（大川）スキノ
枦 カメ 66（西目）貫光
尾上きゑ子 7（赤瀬川）矢次郎
法福 市次 54（新町）光雄
花田 輝喜 8（大川）良雄
田中新次郎 85（鶴川内）ハツ
浜崎太平次 84（波留）ノフ
川原 セン 69（高松町）弘
弓木野岩次郎 72（山下）川次
花田 スエ 79（大川）勇次郎
飛松 一彦 4（西目）力
小田原安太郎 79（波留）コム
川畑 清蔵 62（山下）ハル
中野 キタ 59（大川）ハツ子
鼻崎茂太郎 67（脇本）辻初彦
牧尾 ハツ 81（〃）休次郎
江良千家丸 49（〃）英千代
木原 ツヨ 59（〃）源造
永野 庄蔵 84（〃）ツル子

事業税（1期分）は 31日まで

しかし31日は日曜日ですので30日までに近くの銀行、郵便局、市役所に払込んでください。

30日は土曜ですが県金庫、（鹿児島銀行）は午後3時まで取扱います。

手洗の励行
暴飲暴食に注意
＝夏は伝染病の多発期＝

お隣りの出水市では、赤痢の集団発生で百名余りの人が発病しています。

一年中で今が一番伝染病、特に赤痢、日本脳炎、食中毒の多発期です。お互に、予防に心掛けあわせて夏の健康に努めましょう。

◎食事の前に手洗の励行！

水道のある家では、必ず流水を使い、水道のない家では手洗器を備え、学校や職場などの集団的場所やキャンプなどは手洗設備を完備して食前食後の手洗を励行しましょう。

◎はえ蚊ねずみの退治！

赤痢、疫痢、小児麻痺、日本脳炎などは、はえ、蚊、ねずみなどがその病菌のとりもちをしています。

1. 蚊やはえはフマキラなどの薬剤による駆除はもとより、家族揃つて「はえたたき」を励行しましょう。便所、畜舎堆肥舎、汚水路は蚊やはえの発生源で常に清潔とオルソやフマキラなどの薬剤散布に心がけましょう。
2. ねずみは「どろぼう」だけではありません。

恐ろしいペストの媒介者で一斉駆除は特に効果があるので各戸もれなく励行しましょう。

◎暴飲暴食は病気のもと

睡眠による十分な休養と規則正しい生活、積極的な身心の鍛錬に努め異状を認めたときは早期受診が大切です。

◎恐ろしい日本脳炎の予防

今年は空梅雨のまま早目に夏に入つたので、日本脳炎の発生に絶好の条件となつています。

この予防法として

1. 過労に陥らないこと。
2. 日光の直射をさけること（子供には必ず帽子をかぶせる）
3. 蚊にさされないこと。
4. 予防接種は進んで受けること。

◎食中毒などに注意しましょう

夏の食中毒は殆んど魚肉、魚介類、ねり製品がもとです。

1. 前日の残り料理、折詰料理、ねり製品（天ぷらかまぼこ類）には特に注意し、食べる前に十分熱を加えること。
2. 「おでき、ひようそう」など化膿した傷のある人は調理しないこと。

◎健康増進のために

1. 釣合いのとれた食事をとること
2. 黄緑野菜、大豆油を十分とること。
3. キャンプ海水浴は積極的な心身鍛錬の一つです。但し過去一ケ年以内のツベルクリン陽転者は、登山海水浴などはさけること。

夏に多い家畜の伝染病
＝原因は蚊によるものが非常に多い＝

毎年夏になると、いろいろな家畜の伝染病が流行します。

原因はいろいろありますが殆んど蚊の媒介によつて伝染するもので、家畜に大損害を与えます。

最もおそろしいのは、家畜の流行性脳炎で、この病気は、人畜共通の悪性伝染病です。

家畜では5才以下の若い馬がかかりやすく脳が冒されるために眠りつづけたり立つことができなくなつたり、あばれたりします。

牛や緬羊、山羊は親には大体において症状があらわれません、大脳が萎縮して無脳症になるのが特徴です。

親豚は感染しますが発症しません、しかしその豚が妊娠しますと疫毒が胎児に移行して胎児が死にます。

若馬では5月から6月末までに予防注射を受けておくことが安全ですが、蚊にさされないようにすることが大切です。

緬羊、山羊が腰まひにかゝると腰がぬけて、立たなくなりますがこの病気も蚊が媒介するもので、しかも品種のよいほどかゝりやすく、緬羊、山羊の改良増殖上のがんともいえる病気です。

この予防法としては、家畜小屋の通風採光をよくし、蚊が生棲する暗い所がないようにするか、または、金網を窓に張つて蚊がはいらないようにすることが一番でしょう。

つぎに鶏痘がありますが、これは本年産の若鶏は6月から9月下旬までには大低かゝる病気で、とさかや顔面、足などに発診し、食欲がなくなつて産卵を急に止めるなどの打撃を与えます。

この予防法は蚊がでる前に鶏の股の部分の毛を抜き、鶏痘予防液をすりこむだけで簡単に予防できます。

しかし飼つている中で一羽でも鶏痘が発生すれば、絶対に予防接種をしなければなりません。

夏の家畜の伝染病は、大部分蚊によつて伝染されるものが多いので、蚊を駆除することが第一で、そのためには、畜舎や溝にDDTやBHCをまいて蚊を退治するとともにかやり火をたいたり畜舎の窓に金網を張つて蚊の侵入を防ぐこともぜひ実行していたゞきたいものです。

※　※　※
※　※　※

8月1日からいよいよ実施
＜市内全商店メートル法へ切換＞

明年1月1日より強制実施されるメートル法に早くなれ、少しでも混乱を少くするために、市および商工会議所などの指導によつて市内の全商店はいよいよ8月1日からメートル法への切換にふみきることになりました。

店頭には どこも換算表をかかげてありますが、早目に一応大方のところをのみこんでおきたいものです。

100グラム	約27匁	200グラム	約53匁
400グラム	約107匁	600グラム	1斤(160匁)
1キログラム	267匁		
1リットル	約5合5勺	2リットル	1升1合
1.8リットル	約1升	1.8デシリットル	1合
1メートル	約1.09ヤール		約2尺6寸4分（鯨）
1ヤール	約91センチメートル		
1尺	約30センチメートル		
1インチ	約2.5センチメートル		
100グラム	約3.5オンス		
	約0.22ポンド		
1オンス	約28.4グラム		
1ポンド	約453.6グラム		

「市だより」の時間が變りました。
朝六時二五分から、（今月は二日・一七日）MBC1560KC

失業保険にはいりやすくなりました（小企業）

今まで小企業の事務所で働いている人々は、あまり失業保険の恩恵を受けることができませんでした。

しかし、今度法律が改正されて小企業（5人未満）の労働者もたやすく失業保険に加入できるようになりました。

そのほか保険料の計算の方法や納期のこと、通用期間の短縮などいろ〳〵な面で簡単で有利になつています。

ちなみに5月1ヶ月分の支払われた失業保険金は、県下で約一万三千人で、六六〇〇万円市内だけでも約一四〇〇名で約二二〇万円という大きな金になつています。

実施は10月1日ですが、詳しいことは安定所でご相談下さい。

てたぞ！待望の水
佐潟地区喜びの一日

炎天に工事を急いでいた上水道の佐潟地区への延長工事は、先月二十二日一応完成、地区民が待ちに待つた冷い水が、三つの共用栓から勢よくとびだしました。

今まで、自家用の井戸をもつている一部の家をのぞけば、わずか二ヵ所位しかない共同井戸にたよつていたもので、なかには四〇〇メートルも遠くからくみにくる人も多く、また夜中の二時頃から、くる人もあるなど一般の想像以上のものがあつたところです。

今度の完成は、区民一体となつて27年度から水道の延長を運動していただけに、当日は満六年ぶりに、ほとばしる水をみて、笑顔の主婦、はしやぐ子供達、涙を流す老婆の姿など喜び一色につつまれていました。

また、33年度工事として、同地区各家庭への引込工事、西目地区への延長が実現することになつています。

本年度中に脇本地区にも脇本地区簡易水道も、本年中に給水を始める計画で工事を急いでいますが、現在大部分の配水管の布設を終り、水源地の工事に大わらわです。

未曾有の干天にもかかわらず水源地の湧水は工事をさまたげるほどに多く、関係者はうれしい悲鳴をあげています。

談話室
日本一の甘藷も

空梅雨、干ばつと甘藷つくりには今年は最悪の年だつたようですが、今日は明るいお話しをお伝えしましょう。

それは、去る四月両陛下が県下御巡幸の折、鹿児島市の岩崎谷荘に御宿泊の際、三笠農協が献上申上げた甘藷が、ご食膳に供する光栄に浴したということです。

側近者の話によりますと、ゆでて中味は薄く四角に切り、何も調味せず、そのままのものを差上げたとのことですが、陛下は「これはおいしい」と申されて二皿おめし上がりになり、また一皿完全に召し上がられた皇后陛下にお向いになり「良宮さんは平素は食べないのにおいしいと見えて今日はたべたね！」と申されたということです。

かねてより、優秀な甘藷として定評のある、この地区の甘藷が本場の薩摩いもを代表して、両陛下をお喜ばせ申し上げたということは、その優秀さを両陛下がご証明くださったともいえましょう。

農政シリーズ（その二）
赤瀬川地区の交換分合はじまる

わが国の農業の生産力についてみると、反当収量は世界的にも可成り高いが、労働単位当りの生産力は著しく低く、農家一人当りの国民食糧生産力は、日本の場合は苦労して僅かに二人分であるのに対して、デンマークで十二分、アメリカでは三四人分であるといわれています。

このことが日本農家の生活を貧しくし、一方では生産費が安くならないので、農産物の国際競争力を極めて弱くしているのです。

このような農業の在り方を改善するには、まず問題となるのは手労働を畜力機械に置き替えたり新しい技術を取り入れたり、営農の組織や方式を改善したりして根本的にその生産の形をつくりかえて、低い労働の生産性を向上することが急務です。

そのためには、農業をかたちずくつている基本的な要素である。土地（耕地）の状態が不合理な条件のままではうまく行かないのです。

耕地条件が悪いと云うことには、経営面積が少ない上に分散していると云うこと、耕地の土質や水利が悪いと云うことなどがあるのですが、なかでも耕地の分散は農家を過労にし、労働の生産性を弱めている最大の原因の一つをなしています。

このような経営合理化のための妨げとなつている「分散」を是正する農地整備の問題は、国や関係団体はもちろん、農家個人も真剣に考えねばならない問題であり、労働する農家が良い収入とそれによる良い生活をするためには、何は置いても是非実施しなければならない事業です。

以上のような趣旨から新農村建設対策の中でも、この農地の交換整備事業を最も重要な基幹事業としてとりあげており、三十三年度新農村建設事業実施地区である、阿久根地域の中の大字赤瀬川を一地区とする、水田五一町四反四畝畑一〇一町三反八畝について農業委員会がその事業主体となつて農地交換整備事業を実施することになつたのです。

この地区の耕作農家は、赤瀬川、中村、浦、大尾の他に大字波留に属する上野、新町、高松の各部落農家で占められていますが、地区の中心をなす赤瀬川地区農家の一戸当りの耕作面積をみると、五反五畝歩となつておりまた、農地の分散程度についてみると、経営面積によつてある程度の差はあるとしても、水田が四ヶ所以上に分散している農家は全農家の三二％に当り、畑については大半の五三％にもあがつています。

さらにまた、経営面積五反～七反の中層農家について自宅から一番遠い農地までの距離を調査してみると二粁以上に耕作する農家は二四％にも達しており、耕地の分散とともに労働生産性を低くしている要因をはつきり現しているのです。

さて一方この地区農家は本事業の必要性を痛感せられ去る七月十一日結成された計画委員会を中心に本格的な実施段階に入り土地調査、耕地図作成、原案作成と地区内部落から選出された計画委員により事業が進められていますが本事業の成果を望むには、関係農家の理解と全面的な協力が必要です。

聴談傳
「……前略……

さて突然の便りですが、当市報に御感謝の一言を申し上げさして頂きます。

実は僕一昨年四月当市報のきつかけで、就職出来まして一青年です、というのは一昨年確か二月の市報だつたと思いますが、川崎製鉄他、三、四社の人員募集記に目が附き、これはよい機会と思い早速受験の手続をし、三月出水職安で一次試験に合格、二次を四月に当社神戸で受験、幸いにして一次、二次共にパスし、四月十八日川崎製鉄一万五千従業員の一員として、希望と責任を強く心に誓つて入社しました。

四月で早や一年の月日を過しましたが、今では仕事も大分覚え健康にして働く喜びと溢れる希望とに包まれて務めています。

以下略……（元文のまま）

このような手紙が、広報子のもとに届けられたのは二、三ケ月も前のことだつたでようか……。

難中の難といわれる広報効果の測定をこの一つの便りによつて推定しようというのではありませんが私にとつてはやはり何にもまさる喜びであつたことはたしかです。

さらに、ここにこの一文を公開したことも、この村原豊君（脇本八郷出身）のような健康にして働く喜びと溢れる希望とに包まれる人が、一人でも多く出てくれることを願つてのことに外ならないわけです。

「職業案内」や「おしらせ」の事項が広報の本質からはずれているかいないかは別として、紙面の片すみのささやかな「おしらせ」こそが直に市民に直結する広報だと自負してはばからないつもりです